

「尾根と谷 (3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

谷川岳といえば「遭難の山」と思われている。それは誇張ではなく、実際に遭難が多い。新田次郎の小説にも、「谷川岳幽ノ沢」「蛾の山」など、谷川山系での遭難を扱った作品がいくつかある。谷川岳は日本一の死者数を「誇る」山なのだ。ほとんどは岩壁登攀中の事故だが、一般ルートでも遭難は多い。

「朝日岳」の山頂だ。谷川岳は土合駅から直接登れ、途中の天神平までロープウェイを使うこともできる。山頂には山小屋もあり人気が高い。



しかし朝日岳は鉄道駅から遠く、日帰りが難しい山にもかかわらず、山小屋もないのであまり人の来ない不遇な山だ。



私は朝日岳に何度も登ったが、山頂につきものの「朝日岳」という看板が朽ち果てていた。そこで何度目かに行った時に自作の看板を取り付けてきたのだ。その後、登山案内書にもこの看板が載っていた。

○ マチガ沢・一ノ倉沢・幽ノ沢・南面岩場への登山者は、登山届を登山指導センターへ。
○ 一般コースの登山者は、この登山カードに。 整理番号 ()

谷川岳登山カード 谷川岳警備隊

登山月日時	月	日	時	分
下山予定日時	月	日	時	分
登山者(代表者)	住所	都	市	町
	氏名			
同行者	男性	人	女性	人
	コース	登山口	主な経過地	目的地
キャンプの予定(日および場所)	(日)	(日)	(日)	
非常の場合の連絡先	TEL ()			

きりとり (裏をご覧ください)

整理番号 ()

谷川岳下山カード 谷川岳警備隊

下山月日時	月	日	時	分
登山者(代表者)				
登山をして気のついた点				

谷川山系に登山する者は、このようなカードの記入・提出が義務づけられている。これは、山岳書に挟まっていた20年以上前のものだが、今でもほぼ同じものが使われているようだ。上部に「マチガ沢・一ノ倉沢・幽ノ沢・南面岩場への登山者は、登山届を登山指導センターへ」と書いてある。この4カ所が谷川山系で最も危険な岩場なのだ。装備やパーティー(登山隊)、天候などを見て、入山可能かどうかを判断する為だ。地形図にも載っているような「一般ルート」はこのカードに書いて、登山口のポストに入れれば良い。

当時の写真もたくさん残っている。これは谷川岳から見て、湯檜曾川(ゆびそがわ)を挟んで反対側にあ



山頂直下には朝日ヶ原という池塘のある美しい草原があり、私はここでキャンプをするのが好きだった。